

上川地区生活科・総合的な学習教育研究会

第2回定例学習会 振り返り

★本日の学習会の記録（Chat GPT で整理したもの）

テーマ：情報収集を充実させるための条件とポイント

1. 教師の情報収集（単元デザイン時）

- 課題意識の出発点は「ぼんやりとした疑問や違和感」
→ 学校・地域にとって本当に課題なのか？教師が実際に調査する。
- 「ひと・もの・こと」の材（学習素材）を明確にする
- 児童の課題意識の育成を考える
→ 無自覚を自覚へ。「気付いていない課題」をどう気付かせるかが重要。

2. 児童の情報収集

- 疑問が気付かせたい事実になづくきっかけになる
- 「調べられそう！」という見通しが行動につながる
- 「知る」ことが、教師から一方的に教わる形から、自ら情報に出会い、探す学びへと変化する
- ネット情報だけに頼らない収集活動の工夫が必要

3. 情報収集が充実するための条件

【子ども側の視点】

- 「自分ごと」としての課題になっていること（ワクワクする内容）
- 「解決できそう」という見通しをもつこと
- 地域に根差したリアルな情報源（ゲストティーチャーや現場）にアクセスすること
- 情報収集の方法や範囲をどう設定するか、子どもにどこまで委ねるかを見極めること

【教師側の視点】

- 教師自身が情報収集し、材（学習素材）を知っておくこと
- 課題意識・目的意識を子どもと共有すること
- 「なんとなく分かるけど、分からない」というモヤモヤ感（ワクワク）を大事にする
- 課題設定と情報収集は連続していることを意識する
- 情報収集の時点で「整理分析の視点」を持たせるかは、内容や子どもによって調整する
- 方向性がずれたときに軌道修正するためにも、教師が意図を持っていることが大事

4. 全体交流からのポイント

- 情報収集は他教科（国語・社会・理科など）の学びとも関連が深い
- 「願い」や「思い」が高まっているからこそ、情報収集の質が上がる
- 1次情報と2次情報の区別を意識する

(リアルな一次情報か、誰かの解釈が入った情報かを判断)

- ・ 「どういう情報が必要か」を教師が精査して、子どもに引き合わせる
- ・ 探究が自分のものになってくれば、自然と情報収集の段階で見通しがもてる
- ・ 情報収集のねらいによって、「自覚的に集めるか」「無自覚に集めるか」を使い分ける

5. まとめ

情報収集は単なる「調べ学習」ではなく、

「探究のプロセス全体の中にどう位置付けるか」を考えることが重要です。

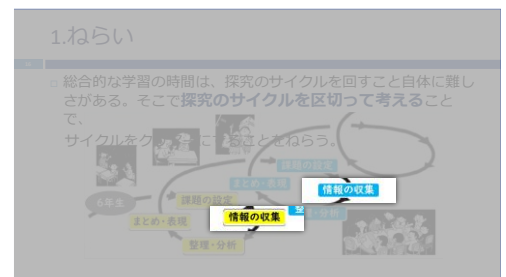
- ・ 「課題設定」「情報収集」「整理・分析」「まとめ・発信」はつながっている
- ・ 教師の単元デザインが、情報収集の質を決める
- ・ 子どもが自分ごととして課題に向き合える場づくりを、今後も大切にしていきたい

★本日の学習会で感じたことや考えたこと、明日の授業や他の教科で生かせそうだったことをご入力ください。(Chat GPT で整理したもの)

1. 情報収集の学びと気づき

● 見通しをもって情報収集を行う大切さ

- ・ 「この人に聞いたらわかりそう」「ここを見に行けば見つけられそう」といった、活動の見通しをもって取り組むことの重要性を改めて実感しました。
- ・ 小林先生の3年生の実践例を参考に、旭川でも同様の情報収集活動を考えていきたい、という声がありました。



● 思いや願いから生まれる情報収集

- ・ 探究的な学びの基盤は、**体験によって醸成される“思い”や“願い”**であることを再確認。
- ・ 対象への愛着や課題意識が、目的意識を明確にし、情報収集を意味あるものにすると感じた先生が多くいました。

● 仮説をもつことの大切さ

- ・ 「知りたいこと」「解決したいこと」をもとに、仮説を立てることで情報収集の見通しが明確になることが重要だと感じました。
- ・ 課題設定の段階で見通しをもつことで、課題に沿った情報収集が可能になると考えられています。

2. 情報収集の質と方法について

● 質の高い情報収集をめざすには

- ・ 「誰に」「どこで」「何を」聞くかが課題によって変わることを意識することが必要。
- ・ 情報収集の質は、「対象や目的」に応じた収集活動によって高められる。

● 他教科の学びを生かす

- ・ 他教科での経験(国語のインタビュー活動や社会の調べ学習など)を想起させ、情報収集の方法を横断的に活用することも有効であると感じました。

3. 概念的な知識へのステップアップ

- 事実的な知識を積み上げるだけでなく、概念的な知識に引き上げていく構造的な学びが重要。
- 個別の気づきや事実の積み重ねから、自然に子どもたちの意識が更新されていくためには、教師の見通しと手立てが大切だと考えられました。
- グループ協議の中で「手応えの要因を具体化できたことで再現性が高まる」という気づきもありました。

★本日の学習会で感じたことや考えたこと、明日の授業や他の教科で生かせそうだったことをご入力ください。(原文ママ)

- 「この人に聞いたらわかりそう！」「ここを見に行ったら見つかるんじゃないかな？」のような、情報収集の見通しをもって活動するのがいいなと思いました。小林先生の3年生のような情報収集を、旭川でも考えていきたいと思いました。
- 探求のプロセスは互いにつながっていることを改めて実感しました。全ての基盤は、体験によって醸成された思い・願いだな～と思いました。また、情報の収集を成功させるには、活動の見通しをもつことが大事だと思います。そして、知りたいことに合致した情報収集の方法を教師もおさえておくことが大事！
- 情報収集を充実させるためには、対象への願いや思い、愛着をもとにした目的意識や課題意識をもつことが大切だと感じました。課題を解決するためには、仮説を立てることで情報収集の見通しをもって活動に取り組むことができると考えます。また、情報収集をさらに充実させるためには、他教科での学習経験を想起させ、それを活かすことも有効だと感じました。
- 情報収集を充実させるためには、課題設定の段階での、見通しが重要だと感じました。その見通しがあるからこそ、目的意識をもって課題に沿った情報収集を行えるのだと思います。対象や目的にあった情報収集ができるよう、これから考えていきたいと思っています。
- 貴重な学びの機会をいただきありがとうございました。10年以上前の実戦を改めて振り返る機会をいただきましたが、グループ協議の中でその手応えの要因を具体的に考えることができました。具体的に考えられれば、それは再現性が上がるということなのだと思います。情報収集において、概念的知識への構造を意識し、身近な事実に知識から積み上げていく。それを関連づけていくことで、徐々に高次なものへ引き上げていくこと。個別の知識から自然に児童の意識を更新させていく手立てや教師の見通しが大切であること。私自身の個別の気づきが概念的なものに少し近づいたように思います。なかなか時間が取れない環境になってしまった今、このような短い時間で多くを考え学ぶことができる機会はとても貴重であることを強く感じました。今後もよろしくお願いいたします。
- 「情報収集」の具体イメージを広げることの大切さを再確認しました。
- 扱う情報の質の面から考えると、目的に応じて探す範囲や相手が異なることが認識できました。また課題設定や整理分析など、他のプロセスとのつながりの中で考える必要があると改めて感じました。

★本学習会の運営に関わって、質問や意見、要望などがありましたらご入力ください。(原文ママ)

- 本当に勉強になります。ありがとうございます！
- とても興味深い話題でした。また、とても充実した時間でした。次回もたくさん教えて頂ければと思います。本日は、ありがとうございました。
- 本日は、学びある学習会をありがとうございました。次回の整理分析も楽しみにしています。

- 今の進め方はとても参加しやすく、学びも多く有難いです。若手からベテラン、レジェンドといった幅広い経験年数の方々でお話できることも大きいと思っています。今後もよろしくお願いいたします。
- 継続が大切
- 今回も各地から参加してもらえてよかったね！ ^^

次回は、9月11日です。

整理・分析という視点で探究のサイクルについての学びを深めることができたと考えています。
次回もよろしくお願い致します。

1.ねらい

- 総合的な学習の時間は、探究のサイクルを回すこと自体に難しさがある。そこで探究のサイクルを区切って考えることで、サイクルをクリアーにすることをねらう。
- その際、生活科における体験活動と表現活動との繋がりも見えたら良い。
- 探究のサイクルにおける各場面を切り取って、話し合うことを通して、その場面における大切なことを理解したり、優れた実践を汎用性のあるものにし、自身の実践に使えるようにすることで、明日の授業作りに生かす。

上川地区生活科・ 総合的な学習教育研究会

Upcoming Events

2025

20:00～21:00

6月
5

課題設定

総合的な学習の時間における課題設定の在り方について

7月
10

情報収集

総合的な学習の時間における情報収集、体験活動の質を高める手立てについて

9月
11

整理・分析について①

総合的な学習の時間における整理・分析、生活科における表現活動について

11月
13

整理・分析について②

総合的な学習の時間における整理・分析、生活科における表現活動について

12月
11

まとめ・表現

総合的な学習の時間におけるまとめ・表現の在り方について

3月
5

気付きの質を高める

生活科における気付きの質を高める指導の在り方について

第3回定例学習会

日時 9月11日（木）20:00～21:00

ID : 856 4440 1371

パスコード : 061154

ご参加いただける方は、右の二次元コードより
お名前とご所属をご入力ください。

